連載

メイ琴平～ハープで世界を旅する～⑥

オマーン　アラブの宝石

～豊かな歴史と美しい自然を生かしたアクティビティ～

一般社団法人 May Music Office 代表理事　**メイ 琴平**

琴平メイ（May Kotohira）ハープ奏者

一般社団法人 May Music Office 代表理事。

福岡教育大学在学中にオーストラリアキャンベラ大学で文化人類学、社会学を専攻。

大学卒業後、青年海外協力隊員として南米パラグアイで女性の自立支援のプログラムに携わる。パラグアイの楽器ハープ（アルパ）に出会う。

現在、音楽を通して国際交流をテーマにラジオパーソナリティーや雑誌の寄稿を行うなど様々な活動を行う。

文化庁採択コンサート「音楽で世界を旅するコンサート」を企画主催。

全国の小中高等学校での国際理解ハープコンサートで、文化の多様性を子供達に伝える。

音楽で世界を旅するコンサート 2022

音楽で世界を旅するコンサートは国をテーマにしたコンサートシリーズです。文化庁の補助金採択事業として大使館の協力を得ながらその国をテーマにした音楽を楽しみ文化に親しみます。昨年に引き続き今年は、ブルガリア、モンゴル、世界の音楽、エクアドル、アフリカ、ポーランドといった様々な国をテーマに行います。

大使館員によるミニレクチャー、国の紹介もコンサート前に予定しています。

【ブルガリア編】は、バルカン、コーカサス地方の音楽を専門にする演奏家に。ブルガリアの独特のリズムを刻み、音楽を奏でます。

【モンゴル編】は、馬頭琴奏者３名によるモンゴル伝統音楽。そしてホーミーというモンゴル独特の歌とハープの音色も加わります。

【世界の音楽編】は、琴平メイによるハープソロ演奏。様々な大使館のイベントで演奏した曲をその国の文化を説明しながら演奏します。

【エクアドル編】は、南米のフォルクローレ音楽を、エクアドル人３名のユニット TAKI によるサンポーニャやチャランゴ、琴平メイによる南米ハープと一緒に南米アンデス音楽を奏でます。

【アフリカ編】は、コンゴ人グループリンゴマによるアフリカンミュージック。パーカッションやハープの音色が入り、アフリカの音楽のルーツをリズムを楽しみながら感じられます。

【ポーランド編】ではグランドハープ、ラテンハープ、フルートによるポーランドを代表する作曲家ショパンの音楽をジャズにアレンジしながら演奏予定です。年内最後のコンサート、今年一年を振り返って、ポーランドそして隣国ウクライナにも思いを馳せる時間になるとよいなと思っています。

さて、今回紹介するオマーンはアラビア半島の先端に位置するとても美しい国です。記事の作成に当たりモハメッド アルブサイディ大使を始め、大使館の多くの方にお世話になりました。以下の記事は大使の原稿を筆者が編集したものです。

May Music Office youtube

オマーン
アラブの宝石

息を呑むほどに美しい自然と、歴史と伝説が万華鏡のように織り合わされたオマーン・スルタン国は、文化と伝統を維持しながら、近代的発展を遂げたユニークなアラブ最古の独立国です。真のアラビアらしさを求める旅人にとって、オマーンはまさにぴったりの場所と言えるでしょう。

オマーン国内に点在する 500 もの城塞のひとつ
Ministry of Heritage and Tourism

オマーンを体験する

オマーンはアラビア半島先端の隠れた宝石と言われ、古くからの伝統と現代的な生活様式が見事に一体化しています。古き良きアラビアを現代の快適さをもって体験することができるのです。朝には伝統的なスーク（市場）を散策し、夜にはマスカットのロイヤルオペラハウスで世界トップのパフォーマンスを楽しむこともできます。また、オマーン独特の魅力は、オマーンの人々のホスピタリティにあります。オマーンを旅していると、地元の人たちからオマーンコーヒーとデーツ（ナツメヤシの実）に招待されることも珍しくありません。

豊かな歴史と美しい自然を持つオマーンは、年間を通じてエキサイティングで心地よい旅行先です。短期滞在でも長期滞在でも、オマーンには見どころがたくさんあります。高い山々や深い渓谷、ヤシの木が立ち並ぶビーチ、世界有数の砂漠地帯、岩山と段々畑のコントラストー美しいオマーンは国中のどこにでもあります。ハイキング、スキューバダイビング、釣り、カイトサーフィン、洞窟探検や砂漠の傍らでラクダを売る賑やかなスーク、砂浜で孵化する子ガメの観察などなど、たくさんのアクティビティも用意されています。冒険を求める人、雄大な景色を追い求める人、都会の喧騒から抜け出したい人、ユニークな休暇を過ごしたい人、オマーンはきっと期待以上の生涯にまたとない経験を与えてくれるはずです。

オマーンの首都マスカットにある
グランド・モスク
Ministry of Heritage and Tourism

伝統あるスーク（市場）のひとつ
Ministry of Heritage and Tourism

オマーンの豊かな文化

航海、交易、探検の歴史に深く根ざしたオマーンの文化は、アラブ地域で最も豊かな文化のひとつです。オマーンの歴史は古く、何世紀にもわたって独自の文明を築き、民族衣装、宝石、アクセサリー、祭り、結婚式などに代表される伝統文化を引き継いできました。現在では、古い伝統が現代生活と見事に融合し、国中のスークで最新のファッションや電化製品が、伝統的な手作りの工芸品や宝石、さらにはヤギや牛と一緒に売られているのです。

地質学者の楽園

オマーンは地質学に関心を持つ人々にとって、ワンダーランドです。地質学的にそのほとんどが海洋地殻とマントル由来の岩石から成る世界で唯一の国です。マスカット近郊の海岸線をはじめ、オマーン周辺の奇岩や地形に大陸移動の痕跡が見られます。オマーン最高峰のジュベル・シャムス、ルブアルハリ砂漠の巨大砂丘、ドゥクムのロックガーデンなどといたるところで地質資源・景観を目にすることができるのです。

オマーンの北西から南東にかけて弧を描くように連なるアル・ハジャール山脈は、この国の最も優れた地質景観のひとつとされています。標高3,000メートル超のジュベル・シャムスは、海抜数百メートルの岩の中に化石が埋め込まれた、まさに地質の野外博物館と言えます。

歴史ある城砦とウォーターフロントの調和―マスカット
Ministry of Heritage and Tourism

オマーンの楽しみ方

ボート

透き通った海でのマリンスポーツ体験
Ministry of Heritage and Tourism

オマーンには何世紀にもわたる豊かなボートの歴史があります。オマーンに人が居住するようになって以来、1,700キロメートルにおよぶ海岸で操業される漁業や真珠採取などの水産業は続いており、西はヨーロッパ、東は中国、そして遥かアフリカ沿岸まで、海洋貿易のルートが発達しています。

キャンプ

オマーンでは世界でも有数のキャンプ体験ができます。ジャバル・アル・アフダルでのワイルドキャンプや、壮大なワヒバ沙漠でのグランピングなど、どなたでも楽しむことができます。オマーンでは、一部の特別管理区域や私有地を除き、気に入った場所が見つかればどこでもワイルドキャンプが可能です。キャンプは、オマーンの手つかずの自然や、日帰りではアクセスしにくい文化や環境と触れ合う機会を与えてくれるでしょう。

キャニオニング

キャニオニングは、オマーンの大自然を体験する素晴らしい方法です。キャニオニングとは、歩く、よじ登る、登る（クライミング）、ジャンプ、垂直下降（アブセイリング）、泳ぐなど様々なテクニックを駆使してワジ（渓谷）を進むアクティビティです。通常は上流から出発し、トレッキング、ロープを使ったアブセイリング、水泳などを駆使してワジを下るのが一般的です。キャニオニングは体力勝負のアクティビティで、ある程度の訓練と経験が必要です。

ケイビング（洞窟探検）

地元の逸話や民間伝承によると、オマーンでは何世紀にもわたって洞窟探検が行われてきました。オマーンにおけるレジャーや研究のための洞窟探検は1980年代初頭に始まり、アメリカやイギリスの洞窟探検団体により洞窟調査や洞窟学的レポートが出版されました。2004年、オマーンではマジリス・アル・ジン、アル・フータ　ケーブという巨大洞窟を利用した商業活動としての洞窟探検が始まりました。アル・フータ　ケーブは、歩道と電気が整備され、2006年に

美しいホテルリゾートのひとつ

Ministry of Heritage and Tourism

観光施設として開業しました。

オマーンの洞窟探検の大部分は、ハジャール山脈の東部と西部の山中にあります。東側と西側では洞窟の外観が大きく異なります。多くの洞窟へのアクセスは技術的にも肉体的にも困難で、100 メートルから 200 メートルの落差があり、ロープの装備とスキルが必要とされます。ロープを使用するツアーでは、参加者に事前のトレーニングが行われます。

サイクリング

オマーンは、美しい景色と整備された道路インフラ、湿度が低く涼しいシーズンにも恵まれることから、サイクリングには最適の場所です。サイクリングはあらゆる年齢層、技術レベルの旅行者にお楽しみいただけます。競技スポーツとしてのサイクリングももちろん人気ですが、初心者でものんびりと気軽にサイクリングすることができます。

マウンテンバイク

マウンテンバイクは、オマーンの変化に富んだ美しい風景を探索するのに最適な方法です。2000 年代初頭から、マウンテンバイクは国際的なスポーツとなり、幅広い年齢層と技術レベルの人々に楽しまれています。オマーンは、ビーチから山まで、また舗装路からトレイルまで、様々な環境とライディングスタイルを持つ、マウンテンバイクにとって素晴らしいロケーションです。

オフロードドライブ

オフロードドライブは、オマーンの美しい観光地や遺跡に行くのに最適な方法であり、それ自体がスリリングなアドベンチャーでもあります。オマーンではさまざまなスタイルのオフロード・ドライブを楽しむことができます。地形、必要な運転スキル、車の種類などに合わせてルートを選択することができます。

ロッククライミング

ロッククライミングは、体力と敏捷性に加え、登攀やトラバースを制覇するための精神的な強さが必要とされるスポーツです。オマーンはそのユニークな地形から、ロッククライミングに最適な場所と言えます。スポーツクライミング、トラディショナルクライミング、ボルダリング、トップロープ、ディープウォーターソロなど、あらゆるスタイルのクライミングのオプションが用意されているため、自分に合った難易度を見つけることができます。

アウトドアを楽しむオマーンの家族

Ministry of Heritage and Tourism

スポーツ・フィッシング

商業漁業に加え、オマーンはスポーツ・フィッシングを楽しむのにも最適な場所でもあります。スポーツフィッシングには様々なスタイルがありますが、一般的には岸辺から、またはボートで、それぞれの釣り竿と釣り針を使って楽しみます。網を使った釣りは商業活動とみなされ、ライセンスが必要です。

スイミング

オマーンには、あらゆる年齢層や技術レベルのスイマーが楽しめる美しいスイミングスポットが全国各地にあります。水泳は、運動とレジャーを組み合わせた素晴ら

しいアクティビティで、泳がなければアクセスできないような素晴らしい場所への扉を開いてくれるのです。また、シュノーケリング、ダイビング、パドルボード、ボートなど、水泳を取り入れたアクティビティも数多くあります。

トレッキング

トレッキングは、オマーンの自然の驚異を体験すると同時に、ユニークな文化や歴史に触れることができる素晴らしい方法のひとつです。山岳地帯、壮大な高原、ワジ、ビーチ、低地、そして途中に点在する農村など、この国をトレッキングすると、様々な地形や生態環境に出会います。難易度、距離、技術、必要な装備は、ルートによって大きく異なり、誰もが楽しめるトレッキング体験が必ずあります。

オマーンの歴史、地理、文化、人々、見どころ、探検スポットなど、オマーンに関する詳しい情報は、www.experienceoman.om をご覧ください。

緑に覆われたドファール地方の湖

Ministry of Heritage and Tourism

ビーチを楽しむラクダたち

Ministry of Heritage and Tourism

大使からのメッセージ

オマーンは西南アジア、アラビア半島の南東部沿岸に位置し、古代には中国、インド、メソポタミア、東地中海、ナイル川流域、北アフリカとの交易が盛んな交易路の中心として、その長い歴史の中で繁栄を築き上げました。現代においても、ホルムズ海峡の外側に位置するオマーンの地理的な優位性により、世界の主要市場へ迅速かつ安全にアクセスするための要衝となっています。オマーンは近代的で豊かな国家となり、平和のオアシスとして、ビジネス投資においても観光においても、世界で最も魅力的な場所のひとつとなりました。

本年、日本とオマーンは外交関係樹立50周年を迎えました。両国は400年にわたる相互の信頼に基づく友好的な交流を有し、1972年の正式な外交関係樹立以来、特にエネルギー、貿易・投資、金融、知識移転、人材育成など様々な分野での協力により関係が発展し、長年にわたり実り多い関係の根幹を成してきました。

オマーンは、優れた競争力、豊富な天然資源と地域一番のインフラ設備を求める日本の投資家にとっても、豊かな歴史と美しい自然を愛する日本の旅行者にとっても、理想的な目的地と言えるでしょう。